

防災だより

平成 25 年 2 月発行

第 9 号

市役所では岩手県山田町から贈られた横断幕を掲げています。昨年 5 月に開催された第 73 回黒船祭には山田町から多くの町民の方に参加していただきました。11 月には賀茂危機管理局が災害対策本部業務を担当された山田町危機管理室白戸室長を招いて「東北地方太平洋沖地震時対応に関する会議」を開催しました。賀茂地区の防災担当者からの質問に対して、ひとつひとつ丁寧に答えていただきました。震災時を思い出し、時に声を詰まらせる場面もありました。今年の黒船祭にも山田町の方が参加する予定です。大事なことは、これからも交流を続けて、震災を風化させないことです。大規模災害に備えて、被害を少なくするための必要な対策を、官民一体となって講じていきましょう。



津波避難訓練に参加しましょう

3 月 10 日（日）に、自主防災会を中心とした津波避難訓練を実施します。大規模災害からご自身やご家族の命を守るためには、普段から十分な準備をしておくことが大切です。「自宅から緊急避難場所まで何分でたどり着けるのか。」ご自身で把握するためにも、津波避難訓練に参加しましょう。

津波を正しく理解しましょう

2 月 6 日午後 2 時 41 分、南太平洋で発生した地震の影響で、気象庁から津波注意報が発表されました。津波注意報の発表基準となっている「高さ 50 cm 程度の津波」。この「高さ 50 cm 程度なら大丈夫」と捉える方がいらっしゃるかもしれませんが、津波は海底から海面までの海水が大きな塊となって、陸地へ迫ってきます。沖合から陸地へ向かって次から次へと海水が流れ込むため、50 cm 程度の津波でも、激流の川に足をつけるのと同じような状況になります。気象庁から津波に関する情報（大津波警報・津波警報・津波注意報）が発表された場合は、海岸・河口付近には近づかないで、安全な場所に避難しましょう。

静岡県第4次地震被害想定の中間報告について

これからの地震防災の基礎資料となる「静岡県第4次地震被害想定」の中間報告がありました。今後も詳細な情報が入り次第、皆様へお知らせします。

下田市	レベル1	レベル2
最大津波高	9m(田牛の海岸)	3.3m(狼煙崎付近)
平均津波高	4m	1.5m

レベル1とは？

発生頻度が比較的高く(駿河トラフ・南海トラフ側では約100年～150年に1回の発生頻度)、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波のこと

レベル2とは？

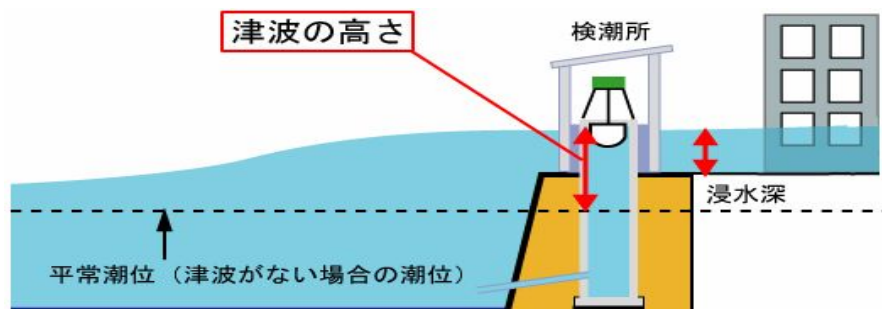
発生する頻度は極めて小さいが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波のこと

津波高とは？

津波がない場合の潮位(平常潮位)から津波によって海面が上昇したその高さの差

浸水深とは？

地盤から津波痕跡までの高さ



消防団員募集！！

地域に密着している消防団は、地域防災の要として、火災発生時の消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時の救助・救出活動、警戒巡視などを行い、地域住民の生命と財産を守り続けてきた歴史があります。また、災害発生時だけでなく、平常時においても訓練、防火指導、広報活動など、防災力の向上や地域に密着したコミュニティ活動などに「地域の防災リーダー」として重要な役割を担っており、深い信頼を得ています。かけがえのない私たちのまちをあなたの力で「安心」のまちにしてみませんか。

ご相談・ご連絡は最寄りの消防団、または市民課防災係消防団担当まで。

発行元：下田市役所市民課防災係 TEL：0558-22-2215

E-mail：shimin@city.shimoda.shizuoka.jp